

5月30日は

「白鷹ごみゼロの日」です。

町民皆さんでごみの減量化に一層取り組むために、5月30日を「白鷹ごみゼロの日」とさだめています。

ごみを減らすために『3R』を広げましょう。

Reduce リデュース（ごみを減らす）

- ・包み紙などの容器包装は、できるだけ少なくしましょう。
- ・壊れにくく、長く使える製品を選びましょう。
- ・マイ箸、マイバッグを利用しましょう。
- ・菓子箱や古封筒、メモ紙などは雑誌として古紙に出しましょう。

Reuse リユース（くりかえし使う）

- ・リターナブル容器を使いましょう。
- ・いらなくなったものは、ほしい人にゆずったり、リサイクルショップを利用しましょう。

Recycle リサイクル（資源として再生利用する）

- ・ごみを正しく分別し、リサイクルしやすくしましょう。
- ・リサイクル製品を選びましょう。

白鷹町で1年間（平成23年度）にかかったごみ処理経費

約1億1,600万円

置賜広域行政事務組合への分担金

約8,450万円

収集運搬・処理委託料

約3,150万円

EMぼかし作りの講座を開催します

5月30日（水）午後7時から

白鷹町中央公民館「文化実習室」

参加無料

*申し込みの必要はありません

お問い合わせは、町民課くらし環境係まで

(☎85-6131)

vol.23

くらしの知

知識

危険！

肥料用消石灰で失明！

事例

肥料用消石灰をバケツに入れ、手に持って畑に散布しているときに転倒した。その際バケツに入っていた肥料用消石灰をかぶり、消石灰が両目に入ってしまった。入院し治療を受けたが左目を失明した。

アドバイス

肥料用消石灰は、家庭菜園や農業などで作物に適した土壌を作るために用いられる肥料で、土作りに広く利用されています。

消石灰は強いアルカリ性の物質で、皮膚や目、呼吸器などに障害を引き起こす危険性があるとされています。特に目に入ると失明することもあり、使用する際は必ず保護メガネ、保護手袋、保護マスク等を着用し、取り扱いは十分気をつけましょう。

新社会人

初めてカードを作る方へ

クレジット契約とは、販売会社から商品を購入する際、クレジット会社がその代金を立て替えて、購入者が後日クレジット会社に返済する契約です。クレジットカードを使う行為は、「借金をする」ことです。分割払いにすると手数料を払うことになり、返済が遅れば遅延損害金を払わなければなりません。また、手持ちのお金がなくても買物ができるので、支払ったという感覚がなく、使い過ぎに注意が必要です。支払い能力以上の買物をすれば返済が滞り、返済のために借金をするという恐れもあるので気をつけましょう。クレジットカードはとても便利なものですが、危険もあるということに注意し上手に利用しましょう。

■問い合わせ

町民生活センター

(☎85-6131)

町民課くらし環境係